

観 点	ね ら い	内 容	資 料	指 導 上 の 留 意 点	中 学 校 と の 関 連	選 択 科 目 と の 関 連
衣 食 住 と 日 本 の 風 土 (6 時 間)		<p>(2) 日本の風土との関係 構造と住み心地</p> <p style="text-align: center;">展 開 例 (12)</p> <p>(4) 木造・障子・たたみ などの歴史</p> <p>(5) 住まいの伝統</p> <p>(6) 住まいの調度品の伝 統</p> <p>3 食べものや農耕の伝統 (1) むかしからの食べもの (2) 日本の風土との関係</p> <p>(3) 食べものや農耕の伝 統</p> <p>(4) 日本の農耕文化 ・年中行事 ・農事暦</p>	<p>岩波新書 P49～ 54)</p> <p>「現代における 床の間」(『床の 間』太田博太郎著 岩波新書 P191 ～198)</p> <p>「食欲と文化」 (『文化人類学 すずめ』祖父江孝 男著 講談社 P84～85)</p> <p>『照葉樹林文化』 (上山春平著、中 公新書 P14～ 21)</p> <p>「民芸の意味」</p>	<p>○ 住まいの洋風化とも関 連させながらすすめる。</p> <p>○ 伝統的な住まいの良さ について具体例をあげさ せる。</p> <p>○ 食べものの保存の工夫 などについても具体例を あげさせて考えさせる。</p> <p>○ 日本食と洋食の折衷に ついてふれるようにす る。</p> <p>○ 生徒の経験に応じて指 導内容の重点化をはかる ようにする。</p> <p>○ 稲作を通じてつちかわ れた日本人の勤勉性にも</p>	<p>○ 人類が、それぞれの地 域の自然環境に対応しな がら、文明を築きあげて いったことを理解させる。</p> <p>内容 (3) 武家政治の展 開と庶民生活の向上</p> <p>○ 鎌倉時代から室町時代 の間に武士や庶民の生活 が向上し、武家文化の形 成と庶民文化の芽生えが あったことを理解させる。</p> <p>(歴史) 内容 (4) 天下統 一の歩み</p> <p>○ ヨーロッパ文化に初め て接した当時の日本人の 対応とヨーロッパ文化の 影響について理解させる。</p> <p>(公民) 内容 (1) 民主主 義と現代社会 ウ 現 代の文化と生活</p> <p>○ 我が国の文化の伝統に 関心をもたせる。</p>	<p>始 (4) 幕藩体制下の文 化の動向で、農耕文化に ついて (7) 地域社会の 歴史と文化で、民衆文化 についての深化をはかる。</p> <p>(倫理) 内容 (2) 日本の 思想で、風土論について 深化させる。</p> <p>※美術Ⅱ B鑑賞で、木造 建築の様式について深化 をはかる。</p> <p>※音楽Ⅰ・Ⅱ B鑑賞で、 民俗芸能について深める。</p> <p>(地理) 内容 (2) 人口と 資源・産業 イ 食料の 生産と消費 の「農牧業 の地域的特色」で、農耕 文化について深化をはか る。</p>